

身体障害者補助犬の受け入れについて

当院では「身体障害者補助犬法」に則り、盲導犬・介助犬・聴導犬の院内同伴を受け入れております。補助犬は、適切な健康管理と予防対策を講じられた犬であり、補助犬を同伴される方がきちんと行動管理をしていますので、他の患者さんなどに迷惑をかけるようなことはありません。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

なお、補助犬以外の動物(ペット)同伴のご来院はお断りしております。

受入れ可能な補助犬の種類

- ① 盲導犬:目の不自由な方を誘導。ハーネス(胴輪)を着用しています。
- ② 介助犬:身体の不自由な方の暮らしをサポート。「介助犬」の表示札をつけています。
- ③ 聴導犬:耳の不自由な方の暮らしをサポート。「聴導犬」の表示札をつけています。

補助犬を同伴して来院される方へ

身体障害者補助犬をご利用される方のご来院にあたっては、必要に応じて、身体障害者補助犬健康管理手帳や身体障害者補助犬認定書所持の有無について確認させていただく場合があります。

補助犬を同伴できる区域

外来ホール、待合、診察室、リハビリ室、売店、トイレ、病棟デイルーム

補助犬を同伴できない区域

手術室・集中治療室
放射線管理区域(X線・CT・MRI撮影室等)
生理機能検査室等の特殊検査室
栄養課(調理室)
その他病院長が定める区域など



《介助犬》



手足に障害がある
人の日常生活を
サポートします。

《聴導犬》



音が聞こえない、
聞こえにくい人を
サポートします。

《盲導犬》



目の見えない人、
見えにくいひとを
サポートします。

補助犬をみかけたら

補助犬は「工作中」です。触ったり声をかけたり気を引いたりせずに、そっと見守ってくださいようお願いいたします。犬のアレルギーや苦手な方は職員にお知らせください。